

第5回 臨時甲状腺簡易測定研修（量研）募集要項（於 愛媛県）

本研修は令和6年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）の一環として、量子科学技術研究開発機構が日本診療放射線技師会（以下、「JART」）の協力を得て開催する専門研修です。

本研修は、甲状腺簡易測定を行う担当者の養成を目的としており、原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に備え、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として、甲状腺簡易測定を行う担当者のさらなる確保のために JART の協力を得て実施するものです。甲状腺簡易測定実習を主として、甲状腺簡易測定を行う上で必要な線量評価関連事項に関する講義を併せて行います。



本研修は「基礎」から「専門」へステップアップする原子力災害医療に関する研修の一つとなります。

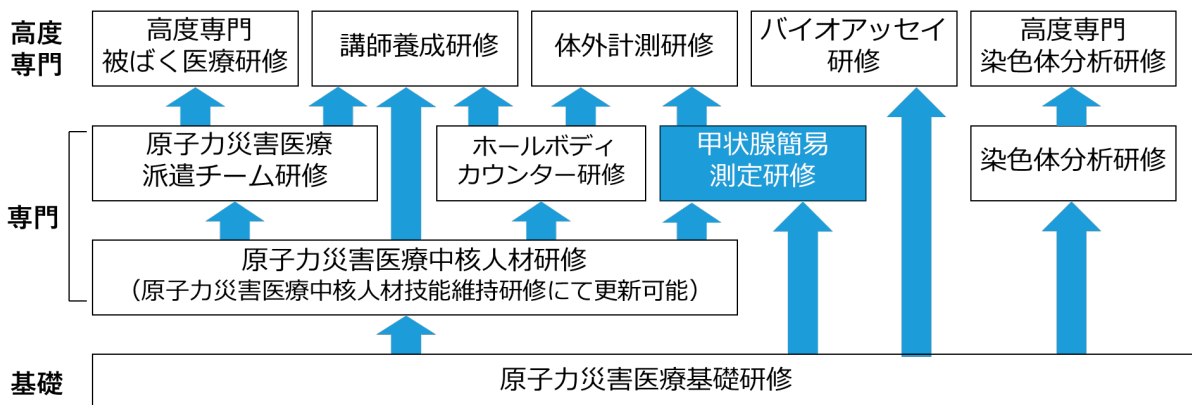


図 ステップアップする研修体系

1. 募集人数および日時

募集人数 50名

日時

- (1) 事前 e ラーニング（受講期間） ※予定

令和6年12月25日（水）～令和7年1月22日（水）まで

※この期間中であれば、いつでも受講可能です。（「4.」参照）。

※基礎研修 e ラーニングとは別ですので、必ず受講して下さい。

- (2) 対面研修（会場: 愛媛大学「3.」参照）

令和7年1月25日（土） 9:30～12:05（受付9:00～）

なお、受講希望者が多数の場合には、午後の部の追加開催を検討します。

2. 対象者

以下の①、②の両方を満たす方。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県の原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関等で、原子力災害時に周辺住民等の甲状腺内部被ばくの簡易測定を担当される方、又はその可能性がある方。

*補足1：地方公共団体の職員であって甲状腺の被ばく線量モニタリングを担当する者を含む

補足2：原子力災害医療協力機関においては、B要件の機能を登録している機関または今後B要件の登録を行う予定の機関

(B要件：国又は立地道府県等からの指示に基づき、避難住民等に対し甲状腺被ばく線量モニタリングを実施することができる測定要員を保有し、その派遣体制を有すること。)

【注】愛媛県診療放射線技師会については、甲状腺被ばく線量モニタリングへの協力に関してB要件の登録（追加）に向けた調整を進めているところであり、原子力災害拠点病院または原子力災害医療協力機関（B要件）に勤務されていない方であって同技師会在籍の方は、申込の際、「所属機関名」は勤務先ではなく「愛媛県診療放射線技師会」を選択して下さい。

- ② 原子力災害医療基礎研修、原子力災害医療中核人材研修、原子力災害医療中核人材技能維持研修、甲状腺簡易測定研修のいずれかを修了し、有効期限内の修了証を有する方。

*これらの修了資格がなく、これらの研修を新たに受講する場合は、令和7年1月15日（水）までに修了するようにして下さい（これらの研修を修了後に、本甲状腺簡易測定研修のeラーニングを受講していただきますので、これらの研修は早めに受講修了するようにして下さい）。

なお、予算の関係で、開催地である愛媛県内の方の受講を優先することがあります。

3. 実施場所

国立大学法人愛媛大学医学部 本館 講義室・実習室
〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454

※上記は対面研修の会場です。

4. 研修科目

本研修は、以下の講義と実習から構成され、すべての講義と実習を受講すると研修修了となります。

- 講義 1「原子力災害対応」
- 講義 2「甲状腺簡易検査」
- 講義 3「話題提供」
- 実習「甲状腺簡易測定」

このうち、講義 1 と 2 は、e ラーニングで実施します。

- 受講期間は令和 6 年 12 月 25 日（水）～令和 7 年 1 月 22 日（水）までを予定しています。この期間中であれば、いつでも受講可能です。所要時間は合計で 90 分程度です。

※上記受講期間中に e ラーニングを受講修了できなかった場合、対面研修は受講できません。

- e ラーニングについての詳しいご案内は受講決定通知とともに送付します。
- 講義 3 と実習は、上記「1.」の日時、および「3.」の会場にて対面で実施します。
- 5 頁の時間表を参照。

なお、研修講義に係る原子力災害医療研修のテキストは、以下 URL からダウンロードできます（講義 1 は新テキストを使用します）。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/nuclear-emergency-medicine-text.html>

5. 受講料

無料

6. 交通費等

当機構規程によりお支払いいたします。

7. 申込要領

申込期間 令和 6 年 11 月 27 日（水）～ 令和 6 年 12 月 18 日（水）

お申し込み多数の時は早めに締め切らせていただくことがあります。

申込方法 ポータルサイトより申し込んで下さい。（「[入力操作の手引き](#)」参照）

被ばく医療研修ポータルサイト
<https://retms.nirs.qst.go.jp/>



【ご注意（再掲）】

- 受講希望者が多数の場合には、午後の部の追加開催を検討します。
- 原子力災害拠点病院または原子力災害医療協力機関（B要件）に勤務されていない方であって愛媛県診療放射線技師会在籍の方は申込の際、「所属機関名」は勤務先ではなく「愛媛県診療放射線技師会」を選択して下さい（上記「2. 対象者」を参照）。

8. 受講決定通知

- 令和6年12月25日（水）までに所属長及び本人宛に文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させていただくことがあります（受講決定は先着順ではありません）。なお、この日を経過しても受講決定通知が届かない場合は下記問い合わせ先までご連絡下さい。
- 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程等受講に必要な諸事項を送付します。
- 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は、研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

9. 連絡先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課

電話（直通）：043-206-3122

E-mail：hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際して御記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、量子科学技術研究開発機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

また、本研修の受講を申し込んだことにより、eラーニングシステムのサイトポリシー（<https://rem-elearning.nirs.qst.go.jp/pages/738>）を了承し、同システムに個人情報を登録することに同意したとみなします。

令和6年度第5回臨時甲状腺簡易測定研修（量研/於 愛媛県） 時間表

令和7年1月25日（土）

時 間		場 所	研修内容	
9:00 - 9:30	0:30		受付	
9:30 - 9:35	0:05		開講式（移動含む）	
			A 班	B 班
9:35 - 10:35	1:00		講義 3. 話題提供	実習 甲状腺簡易測定
10:35 - 10:40	0:05	移動	A 班	B 班
10:40 - 11:40	1:00		実習 甲状腺簡易測定	講義 3. 話題提供
11:40 - 12:00	0:20		総合討論、質疑応答（移動・実習のまとめ含む）	
12:00 - 12:05	0:05		閉講式	

注1) 講義 1「原子力災害対応」、講義 2「甲状腺簡易検査」については事前 e ラーニングにおいて受講していることが必要です。

注2) 時間表は随時見直されていますので、当日までに変更がある場合がございます。

講義及び実習は、予定時間より延びることがありますので、あらかじめ、ご承知置き下さい。